

## 19 年度 Q 1 決算説明会 質疑応答要約

### Q) P&S 事業において、レーザー、インクジェットとも消耗品が良かった背景は何か。

A) もともと中期戦略で掲げたとおり、収益性改善のために行っているさまざまな施策の効果が現れはじめていると考えている。

### Q) P&S 事業が、業界の中で相対的によく見える理由は何か。

A) OEM 向けの製品販売の減少、および収益性の低いモデルを政策的に絞ったことにより数量は減少しているが、事業戦略上伸ばしていきたいモデルについては順調に伸びており、レーザー・インクジェットともに製品ミックスは改善方向にある。加えて消耗品がグローバルに堅調に推移したことも寄与している。よって相対的によく見えるのではないかと考えている。

### Q) P&S 事業において、中国の景気減速による影響は出ていないのか？

A) 足元では業績への影響は出ていないが、流通在庫は増加傾向にある。第 2 四半期以降も注視していく必要がある。

### Q) 産業機器はもともと下期回復前提という考え方であったが、3 か月経過した中で、何か変化はあるか？

A) 昨年下半年以降、受注が弱い状況が継続しており、変化は感じられないが、IT 向け、中国向けも既にかなり低い水準となっているので、ここからさらに業績が落ちていくというイメージは持っていない。

以上